

# 民報 藤島

2021年2月28日

第1288号

編集発行  
日本共産党藤島支部

生活相談所  
加藤鉱一（宝徳）  
TEL0235-64-3941  
携帯090-8929-4221  
HPは「藤島 加藤鉱一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい  
(月200円程度)  
2月 21人 11,423円  
1月 32人 66,720円

## 3月議会に共産党が国保税の減税提案 1人当たり5000円引き下げ

日本共産党鶴岡市議

する提案

です。

団が3月議会に「国保税条例の一部改正」を提出しました。

同12月議会に市税条例から、「都市計画税」を藤島と温海地域から廃止する提案でした。

黒字が続き、国保税収27億円の4割超にあたる13億円が繰り越され、基金には8億5千万円も溜め込まれています。

提案には所管する厚生常任委員会の加藤鉱一委員長と坂本昌栄議員は外れました。

過去に議案提案権を用いた条例提案は、2010（平成22）年6月議会に、国保税1人あたり均等割を500円を1年間に限り減税

人あたり5000円引き下げる提案で、財源は1億2千万円で可能

2年生（冬期は3年生も加わって）の複式学級では先生が一方の学年を教えている間、他の学年は書き取りなど自習だった。

分教場の校庭では子どもたちの最高の遊び場だった。ハイタイゴつこや自転車乗りの練習、車輪ころがし、キヤツチボール、紙飛行機や手製のグラайдーを飛ばし、相撲ごっこ、

教育現場では教育勅語の暗唱や歴代天皇の124代の名称の朗誦、暗唱の強制など時代は急速に右傾化していった。さらには竹槍を持って相手に立ち向かう練習や敵機裏来に備えての灯火管制、焼夷弾による火災を防ぐ消火練習などの国民総動員の体制が敷かれた。

議会第1号

鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について

鶴岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和3年3月2日提出

提出者 鶴岡市議会議員  
崔井巖  
同  
長谷川剛  
同  
山田守  
同

鶴岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

鶴岡市国民健康保険税条例（平成17年鶴岡市条例第134号）の一部を次のように改正する。

第3条第1項「100分の7、9」を「100分の7、4」に改める。  
第4条中「2万5,200円」を「2万4,800円」に改める。  
第5条第1号中「2万400円」を「1万7,400円」に改め、同条第2号中「1万200円」を「8,700円」に改め、同条第3号中「1万5,300円」を「1万3,050円」に改める。  
第8条中「100分の2、5」を「100分の2、1」に改める。  
第9条中「1万800円」を「1万円」に改める。  
第9条の2中「6,000円」を「5,000円」に改める。  
第21条第1号ア中「1万7,640円」を「1万7,360円」に改め、同号イ（ア）中「1万4,280円」を「1万2,180円」に改め、同号イ（イ）中「7,140円」を「6,090円」に改め、同号イ（ウ）中「1万710円」を「9,135円」に改め、同号オ中「7,560円」を「7,000円」に改め、同号カ中「4,200円」を「3,500円」に改め、同条第2号ア中「1万2,600円」を「1万2,400円」に改め、同号イ（ア）中「1万200円」を「8,700円」に改め、同号イ（イ）中



土門拳写真「昭和の子ども」

3年生からは渡前村の本校（渡前尋常高等小学校）に通つた。忘れもしないその年、昭和16年（1941）12月8日、朝7時。寒い朝であった。「臨時ニュースを申し上げま

す」。ラジオからアナウンサーの声が繰り返された。「帝国陸海軍は本日未明、西太平洋においてアメリア、イギリス軍と戦闘状態に入れり。」陸軍軍人の甲高い声が流れた。家族みんながラジオを囲んでザーザーする音に耳を傾けた。太平洋戦争が始まったのだ。

2年生（冬期は3年生も加わって）の複式学級では先生が一方の学年を教えている間、他の学年は書き取りなど自習だった。ハイタイゴつこや自転車乗りの練習、車輪ころがし、キヤツチボール、紙飛行機や手製のグラайдーを飛ばし、相撲ごっこ、

もたちが成長していく時には村人も一緒に。分教場の校庭はここでだ。上級生と下級生が一緒に遊んだ。サムライごっこなど何がりを覚えたのもここでだ。上級生と下級生が一緒になって遊んだ。

横川村を通つて横山村へ、そこで赤川にかかる橋を渡つて川原に下りて昼食をとり、みんなで遊んで夕方に帰つて来る。

2年生の時の遠足は、な声が繰り返された。

教育現場では教育勅語の暗唱や歴代天皇の124代の名称の朗誦、暗唱の強制など時代は急速に右傾化していった。さらには竹槍を持って相手に立ち向かう練習や敵機裏来に備えての灯火管制、焼夷弾による火災を防ぐ消火練習などの国民総動員の体制が敷かれた。

そんな情勢の中で私は軍国少年化し、兄たちを追つて軍人になることに誇りをもつようになつて軍人養成学校の受験勉強に励んだ。

「帝国陸海軍は本日未明、西太平洋においてアメリア、イギリス軍と戦闘状態に入れり。」陸軍軍人の甲高い声が流れた。家族みんながラジオを囲んでザーザーする音に耳を傾けた。太平洋戦争が始まったのだ。

# 平形分教場 3

加藤貞雄（山王町）

